



夏のほけんだより プール開き号

認定こども園
あゆのさと
看護師 石黒治美
2015.6.8

だんだんと暑い季節になってきました。24日からみんなお待ちかねのプールが始まります。これからの季節体力が消耗しやすかったり、プールの水を媒介して、いろいろな病気に感染しやすい時期でもあります。

夏に、どんな感染症が流行るのかを知り、体調に気をつけて 無理せずプール遊びを楽しみましょう。

プールOK?

チェックリスト

こんな時のプール遊びはやめましょう

- 体温 37.5 度以上
- 下痢・腹痛がある時
- せき・鼻水のひどい時
- 睡眠不足
- 食欲不振や吐き気のある時
- 目やに・目の充血がある時
- 病み上がりの時
- 皮膚に異常がある時（傷やただれがあって乾燥していない場合）

こんな時は主治医に確認してください

- 薬を服用中の場合
- 気管支拡張テープを貼っている場合
- 水いぼができている場合

ご相談ください

ケガをして絆創膏やガーゼなどを貼っている場合

水いぼ (伝染性軟属腫)

ウイルスによって感染する1～5mm大の小さなイボで、イボをつぶすとウイルスが入った汁が出て、広がっていきます。水いぼは、「登園停止の措置は必要ないと考えられる伝染病」であり、「原則としてプールを禁止する必要はない」とされています。

当園でも、プールは禁止していませんが、下記の約束をよく読み、対応をお願いします。

- ① 水いぼのある場合は、必ず職員にお知らせください
- ② 病院で、プール遊びの可否を確認してください
- ③ つぶれて汁が出たり、乾燥していない時はプールに入れません
- ④ 水着でかき取れない部分の水いぼには、Tシャツやスパッツの着用をお願いする場合があります
- ⑤ 水いぼが疑われるときは、速やかに受診し、医師に診断してもらって下さい

気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ほうや潰瘍ができるため、かなり痛む（乳児はミルクが飲めないほど）。



プール熱

(咽頭結膜熱)

高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状がでる。

手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ほうができ、熱が出ることも。



★流行性角結膜炎

ウイルスによる感染症で、目が充血し、目やにがたくさん出ます。他の人にうつってしまうことが多いです。

★とびひ(伝染性膿痂疹)

あせもや虫刺されなどを掻きこわした傷に菌が感染しておこります。感染力が強く、家庭内や園でうつることも少なくありません。掻きこわし後の水疱をつぶすと、菌の入った液で周りにどんどん広がっていくので、見つけたらすぐに受診してください。

この他にも、登園停止の病気、登園できてもプールに入れない病気もあるので、お子さんの具合が

悪い時には早めに受診し、医師に登園・プールの可否を確認してください。